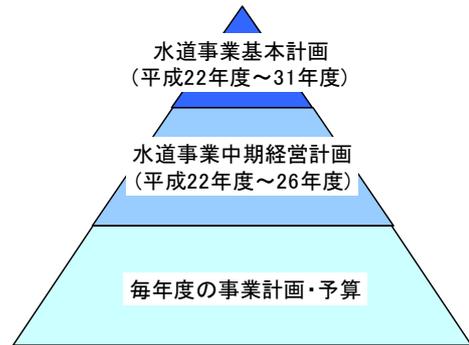


仙台市水道事業基本計画 ～杜の都 水道ビジョン～【概要版】

策定趣旨・位置づけ

本計画は、水道事業を取り巻く環境の変化や経営課題を踏まえながら、長期的な事業運営の指針を定め、計画的な運営を行っていくという趣旨で策定したもので、平成 22 年度からの 10 年間の本市水道事業の進むべき方向性をまとめた、水道事業の最上位計画です。この計画のもとに、具体的な実行計画となる「中期経営計画」を策定し、毎年度の事業計画や予算に反映してまいります。



仙台市水道事業の現状と課題

(1) 水需要

- 人口減少時代の到来
- 家庭における節水機器の普及や企業等における水使用の合理化
- 今後とも減少が見込まれる水需要

(2) 水源・水質

- 安全で良質な水道水の基本となる水源水質の維持向上
- 水源から蛇口までのあらゆる危害要因への総合的な対応

(3) 水道施設

- これまでの拡張事業期に集中的に整備してきた水道施設の老朽化
- 水需要に見合った施設規模など長期的な視野のもとでの水道システム再構築の検討

(4) 災害対策

- 宮城県沖地震などを視野に入れた、災害にも強い施設づくりと応急給水などの体制整備

(5) お客さまサービス

- お客さまニーズの多様化・高度化
- お客さまへの水道事業に関する積極的な情報提供
- お客さまの声の施策への反映

(6) 環境

- 地球規模での環境問題の深刻化
- 環境負荷の低減に向けた取り組みの強化

(7) 経営

- 水需要の減少と今後増加する水道施設の更新需要への対応
- 維持管理・更新の時代を見据えた料金制度の検討
- 技術職員の大量退職などに備えた、将来に向けての事業運営の基盤づくり

(8) 新たな課題

- 水道事業者に通ずる経営課題の解決に向けた広域的な枠組みでの検討
- 我が国の高い水道技術などを活かした諸外国の技術水準向上への貢献

基本理念と施策の基本的方向性

これらの課題に対応し、将来にわたり「杜の都」仙台のライフラインとしての使命を果たしていくべく、次のような基本理念を掲げます。また、この基本理念のもと、6つの施策の基本的方向性を掲げるとともに、それぞれに10年後の達成目標を長期経営目標として設定し、本計画の実現に向けた取り組みを進めていきます。

基本理念

「杜の都」の未来を支え続ける、安定と信頼の仙台市水道事業

6つの基本的方向性

1. 安全・安心で良質な水道水の提供
～水源から蛇口までの水質管理の徹底～

2. 安定・信頼の水道システムの確立
～災害にも強い水道づくりの推進～

3. お客様の視点に立った事業運営
～お客様満足度のさらなる向上～

4. 環境に配慮した事業運営
～「杜の都」の都市環境づくりへの貢献～

5. 経営基盤の強化
～持続可能な水道経営の実現～

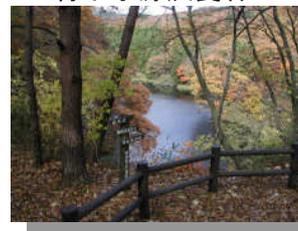
6. 新たな視点に立った事業運営
～広域化・広域連携、国際貢献に向けて～

◆施策の方向性1：安全・安心で良質な水道水の提供

水源から蛇口に至るあらゆる過程において、これまで以上に水質管理・危機管理の充実に取り組み、安全・安心で良質な水道水を提供していきます。

- 水源涵養林の維持管理
- お客様との協働による水源保全活動の推進
- 高度浄水処理施設の導入（かび臭など異臭味対策）
- 貯水槽水道設置者に対する指導・助言
- 「（仮称）仙台市水道局水安全計画」の策定
（水源から蛇口までの総合的な水質管理・危機管理の充実）

▼青下水源涵養林



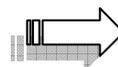
■長期経営目標

かび臭からみたおいしい水達成率

$$\left[\frac{(1 - \text{ジェオスミン最大濃度} / \text{水質基準値}) + (1 - 2 \cdot \text{MIB 最大濃度} / \text{水質基準値})}{2} \right] \times 100$$

【平成20年度】

75.0%



【平成31年度】

80%以上

貯水槽水道の管理充実

広報紙やホームページを通じて、貯水槽水道の仕組みや適正な管理の重要性に関する広報を継続するとともに、貯水槽水道設置者に対して、適正な管理を促すための指導などを実施していく。

◆施策の方向性2：安定・信頼の水道システムの確立

平常時はもとより災害時においてもライフラインとしての役割を果たすため、水道施設の不断の維持管理に努めるとともに、老朽化施設の更新や耐震化などを推進していきます。

- ✚ 水運用機能の強化（宮城県仙南・仙塩広域水道単独水系の解消など）
- ✚ 浄水施設の耐震化（茂庭浄水場系統の施設を優先的に実施）
- ✚ 配水施設の耐震化（荒巻、大年寺山など重要配水池の耐震化）
- ✚ 管路の更新（塩化ビニル管、鉛製給水管などの計画的な更新）

▼管路の更新



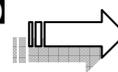
■長期経営目標

道路内埋設の鉛製給水管残存率

(道路内埋設の鉛製給水管残存件数/
給水件数) × 100

【平成20年度】

10.4%



【平成31年度】

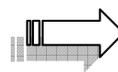
0%

耐震性を有する管路の割合

(耐震性を有する管路延長/管路総延長)
× 100

【平成20年度】

83.7%



【平成31年度】

87%

拠点給水施設整備箇所数

災害などによる断水時に応急給水するための
拠点給水施設(非常用飲料水貯水槽、応急給水
栓など)の整備箇所数

【平成20年度】

60箇所



【平成31年度】

85箇所

◆施策の方向性3：お客さまの視点に立った事業運営

「お客さま満足度の向上」という視点に立ち、水道サービスの利便性向上に向けた取り組みや、広報・広聴機能の充実を図っていくとともに、お客さまとの協働という視点での取り組みも推進します。

- ✚ (仮称)水道修繕受付センターの設置検討
- ✚ 水道料金の収納手段拡充(クレジットカード払導入などの検討)

▼広報紙「H₂O」



■長期経営目標

お客さまの声の施策への反映

お客さまの声を的確に把握し、施策への反映を図っていくとともに、お客さまの声に対する改善・検討事例を水道局ホームページなどで公表していく。

◆施策の方向性4：環境に配慮した事業運営

健全な水循環に代表される良好な自然環境の恩恵の上に成り立っている水道事業者として、より一層環境に配慮した事業運営に努めていきます。

- ✚ 施設更新時における省エネルギー型設備の導入
- ✚ 再生可能エネルギーの導入(太陽光発電、小水力発電など)
- ✚ 浄水発生土の有効活用(セメント原料化など)

▼安養寺配水所 太陽光パネル

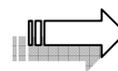


■長期経営目標

二酸化炭素総排出量

【平成20年度】

7,188 t・CO₂



【平成31年度】

平成20年度比
7%減少

◆施策の方向性5：経営基盤の強化

持続可能な水道事業を確立するため、事業運営の効率化や財政体質の強化、▼職員研修風景
人材育成など、経営基盤の強化に向けた取り組みを推進していきます。

- 浄水場の運転管理業務など維持管理の効率化
- 水道施設のライフサイクルコスト縮減に向けた取り組み
- 料金制度の見直し
- 人材育成・技術継承の推進（体験型研修施設の整備など）



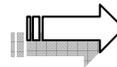
■長期経営目標

累積欠損金比率

$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$

【平成20年度】

14.0%



【平成31年度】

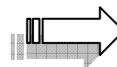
0%

給水収益に対する企業債残高

$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}}$

【平成20年度】

3.6倍



【平成31年度】

3倍

◆施策の方向性6：新たな視点に立った事業運営

東北地方や仙台都市圏における仙台市の役割を踏まえ、広域化・広域連携や▼海外技術研修員の受け入れ
国際貢献といった視点での取り組みを推進していきます。

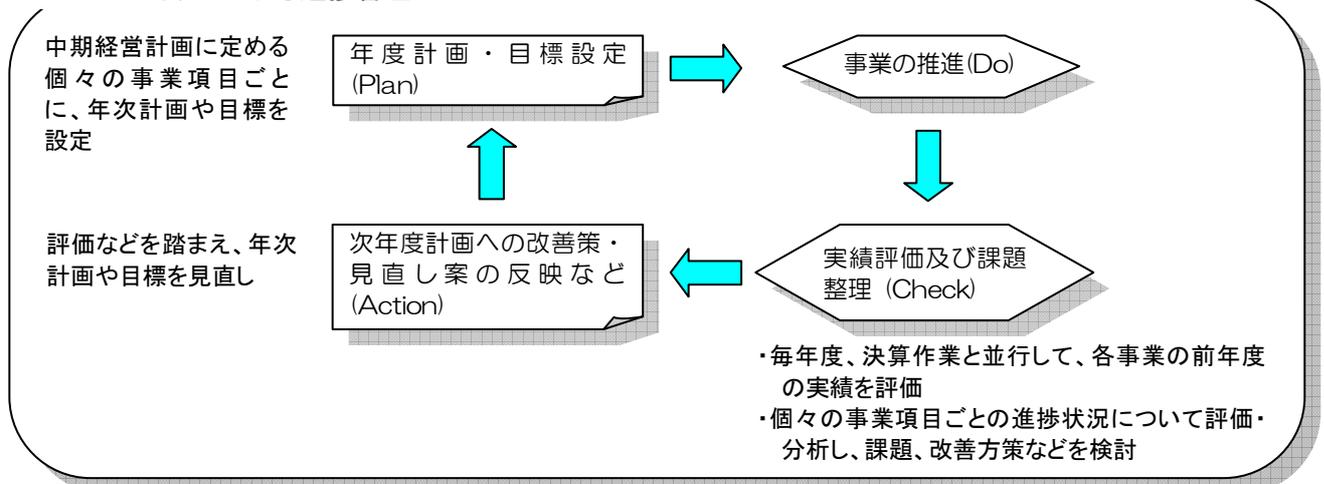
- 宮城県仙南・仙塩広域水道との連携強化（危機管理の分野など）
- 近隣水道事業体との連携強化
- 国際貢献の推進（海外技術研修員の受け入れなど）



計画の実現に向けた取り組み

これらの施策を着実に推進するために、具体的な実行計画となる中期経営計画にて、事業計画・目標の設定（Plan）、事業の推進（Do）、実績評価及び課題整理（Check）、次年度計画への改善策・見直し案の反映など（Action）を一連のマネジメントサイクルとして確立し、計画の実現に向けて取り組みます。

▼PDCAサイクルによる進捗管理



また、毎年度の予算・決算のタイミングで、当該年度の事業計画や事業実績について、水道局ホームページ(<http://www.suidou.city.sendai.jp>)などで広く公開し、お客さまの声もいただきながら、次年度計画へ反映していきます。

■お問い合わせ

仙台市 水道局 企画財務課
〒982-8585 仙台市太白区南大野田 29-1
TEL 022(304)0010